

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報A	2	○	○	○	○						
情報B	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1 ビッグデータ、IoT、AI 計算機の処理性能の向上 第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会 「情報B」(1回目、2回目)
	1-6 AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど) AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など) 「情報B」(8回目)
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2 調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど 1次データ、2次データ 構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など) データのオープン化(オープンデータ) 「情報B」(3回目、6回目)
	1-3 データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など) 研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど 仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など 「情報B」(4回目)
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4 データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化など 特化型AIと汎用AI、今のAIで出来ることと出来ないこと 認識技術、ルールベース 「情報B」(5回目)
	1-5 流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用事例紹介 「情報B」(7回目)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	ELSI(Ethical, Legal and Social Issues) 個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護 AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断) データバイアス、アルゴリズムバイアス 「情報A」(4回目)、「情報B」(12回目)
	3-2	情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性 匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取 情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介 「情報A」(5回目)、「情報B」(13回目)
(5) 実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	データの種類(量的変数、質的変数) データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)・代表値の性質の違い(実社会では平均値＝最頻値でないことが多い) データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値) 打ち切りや脱落を含むデータ、層別の必要なデータ 相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡) 母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出) 統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない) 「情報A」(11回目)、「情報B」(9回目、10回目)
	2-2	データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ) データの図表表現(チャート化) データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト) 不適切なグラフ表現(チャートジャンク、不必要な視覚的要素) 優れた可視化事例の紹介(可視化することによって新たな気づきがあった事例など) 「情報A」(12回目)、「情報B」(10回目)
	2-3	データの集計(和、平均) データの並び替え、ランキング データ解析ツール(スプレッドシート) 「情報A」(8回目、9回目、10回目、11回目)、「情報B」(9回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

1. 基本的な文書処理やデータ処理ができる能力、2. インターネットを適切に利用できる能力、3.AI・データサイエンスの必要性を説明できる能力、4.社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる能力、5.データの活用方法について説明できる能力、6.データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる能力。

【参考】

⑫ 生成AIに関連する授業内容 ※該当がある場合に記載

教育プログラムを構成する科目に、「数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム改訂版」(2024年2月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)において追加された生成AIに関連するスキルセットの内容を含む授業(授業内で活用事例などを取り上げる、実際に使用してみるなど)がある場合に、どの科目でどのような授業をどのように実施しているかを記載してください。

※本項目は各大学の実践例を参考に何うものであり、認定要件とはなりません。

講義内容
科目「情報B」において生成AIに関する技術や課題(リスクとそのコントロール等)、生成AI時代に求められるスキルなどについて説明されているAI・データサイエンストレンド動画教材を視聴できるようにしている。また、それらの動画教材について学期末レポート(テーマは受講生がAI・データサイエンストレンド動画教材の中より任意に選択)を課し、自分が選んだテーマについて授業内容をふまえた上で自ら調べまとめることを促している。

プログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度 年度

②大学等全体の男女別学生数 男性 人 女性 人 (合計 人)

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度		履修者数合計	履修率
				履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数		
文学部	1,113	405	1,620	177	22											177	11%
家政学部	841	230	940	184	80											184	20%
健康福祉学部	484	160	640	110	6											110	17%
看護学部	367	90	360	109	16											109	30%
心理学部	182	80	320	101	28											101	32%
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
合計	2,987	965	3,880	681	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	681	18%

大学等名

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 人 (非常勤) 人

② プログラムの授業を教えている教員数 人

③ プログラムの運営責任者
 (責任者名) (役職名)

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

 (責任者名) (役職名)

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

⑥ 体制の目的

 (1) 認定プログラムに関する計画・実施
 (2) 認定プログラムに関する改善・進化
 (3) 認定プログラムに関する自己点検・評価
 (4) その他、上記運営に係る事項

⑦ 具体的な構成員

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和5年度実績	18%	令和6年度予定	40%	令和7年度予定	60%
令和8年度予定	80%	令和9年度予定	85%	収容定員(名)	3,880

具体的な計画

新入生オリエンテーションで現代社会におけるAIやデータサイエンスの必要性や本プログラムについての説明を新入学生全員に案内し、プログラムの学生認知度を高めるとともに履修を促す。

令和6年度からは、本学の「数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム」が認定されれば、成績証明書にてプログラム修了証明が記載されることを対象学生に周知し、就職活動等でも有益であることを周知する。

令和7年度については前年度の周知状況と履修者数を参考に履修案内の内容や方法を見直したい。

令和8年度については全ての学年がプログラムの対象となることから、一年次のみではなく上回生でも未だ履修したことのない学生に対して改めて周知を行い、全学的に再度履修率を向上させる。

令和9年度には最初のプログラム実施対象学年が卒業し、このプログラムにおける就職活動での活用等について意見が得られることから有用性を伝え履修率の向上につなげる。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

本プログラムを構成する2科目は、どちらも全学共通教養科目として1年次から開講しており、学科を問わず希望する全学生が受講可能なカリキュラムとしている。「情報A」は基本的に学科毎で開講クラスを設定しており、必要な学科はさらにクラスを分割して授業を設定している。また、それに必要な授業担当教員数も確保している。メディア授業(オンデマンド方式によるe-Learning)である「情報B」は、スマートフォンなどでも受講できるため、場所や時間を選ばずに学習可能であり、自宅などで各学生のペースにあわせた学習もできる。今後は履修対象学年が進み、希望者が増加していくことが予想されるが、全学生のノートパソコン必携化が進み普通教室での実施も可能となっているため、必要があれば教室調整等も行うことで希望者全員が受講可能な体制を保っていく。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

HP上に本プログラムの特設ページを設けプログラム開始を周知するとともに、本学のポータルサイトにおいても周知を図り、学生が本プログラムの情報を得やすい環境を整えている。これらの内容は「履修の手引き」に記載しオリエンテーション時に学生へ配付し、周知している。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

本学では令和5年度より学生のノートPC必携化を推進しており、PC教室の空き状況に関わらず情報分野に関する学習が可能で、学内ではWI-FIが常時接続可能となっているため、メディア授業である「情報B」は場所や時間を選ばずに受講可能となっている。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

本学のLMS(manaba)上で履修者と教員間の資料のアップロード・ダウンロードや掲示板を利用して質問や回答が可能となっている。
その他にもポータルサイト(KISSシステム)を使用して該当学生と教員から学生個人ともメールや掲示連絡が可能となっている。ポータルサイトで確認できるシラバスには教員のメールアドレスやオフィスアワーも記載している。

令和5年度「数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム」自己点検・評価について

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	導入している学修支援システムやe-Learningシステムにより、動画教材の視聴状況やプログラムの各内容に関する理解度を小テストを実施することで把握することが可能である。動画教材の視聴状況に関しては、e-Learningシステムの機能で1つ1つの動画視聴の視聴時期や視聴時間を詳細に把握し、データ分析に活用することで履修状況を把握することができる。また、理解度に関しては、学修支援システムの機能で、小テストに取り組んだ時期、回数、点数の推移、問題の正否等のデータを取得することが可能であり、これらのデータをもとに各内容の修得状況を把握することができる。
学修成果	導入している学修支援システムやe-Learningシステムにより、動画視聴の視聴時期や視聴時間、小テストに取り組んだ時期、回数、点数の推移、問題の正否等の客観的なデータを数理・データサイエンス・AI教育ワーキンググループにおいて学部学科を越えて本教育プログラムを構成する科目の学修状況として共有・分析し、本教育プログラムの評価・改善に活用している。具体的には、受講者の授業での取り組み状況・成果物、動画教材や小テストの活用状況と最終的な評価との関連性を検討し、改善すべき点を精微に洗い出している。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	本教育プログラム受講者全員に対して授業アンケートを実施しており、授業の理解度や授業外での学修状況、内容の難易度、フィードバック、授業の工夫、授業の良かったところや改善点に関する自由記述等のデータを取得している。授業アンケートから把握できる受講生の主観的な意識と学修成果の欄で示した動画視聴の視聴時期や視聴時間、小テストに取り組んだ時期、回数、点数の推移、問題の正否等の客観的なデータを数理・データサイエンス・AI教育ワーキンググループにおいて総合的に分析し、学生の理解度を分析している。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	令和5年度より本教育プログラムが実施されたため今後の展望となるが、受講生の受講状況や授業アンケート等の分析結果に基づいて本教育プログラムの概要や得られる学びに関して学修支援システムを通じて配信し、受講の推奨に活用する予定である。将来的には、本教育プログラムにおける受講生の成果物等を受講者に確認した上で後輩学生が自由に閲覧できるようにアーカイブ化し、本教育プログラムの受講によって習得できる資質・能力を具体的にイメージできるようにすることも検討している。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本教育プログラムを構成する科目である情報A及び情報Bに関して、各学部学科の初年度ガイダンスにおいて本教育プログラムの履修を推奨すること等の取り組みにより、履修者数、履修率の向上にむけて推進している。また、科目担当教員を中心とした数理・データサイエンス・AI教育ワーキンググループを定期的実施し、各学部・学科における数理・データサイエンス・AI教育の内容について各専門分野からの観点も取り入れ見直し等を検討し、より学生の履修推進を図る。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
<p>学外からの視点</p> <p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p> <p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>令和5年度から実施したため、まだ本教育プログラムを修了した卒業生を輩出していない。今後は、本学のキャリアサポートセンターと連携し、本教育プログラムを修了した卒業生の進路や採用状況を把握する仕組みを構築していく予定である。</p> <p>過去3年間(令和3年度～令和5年度)の本学キャリアサポートセンターの求人情報によれば、情報、医療、福祉、一般など、さまざまな分野で約1900件に及ぶIT系(データサイエンティスト、データアナリスト、システムエンジニア、プログラマーなど)の求人がある。同時に、過去3年間の就職状況では、学科を問わず約75名の学生がこれらの需要に応じ、様々な分野で就職し、活躍している。今後は提携企業と協力して、社会で必要とされる情報に関する知識やスキルについての意見を収集し、それを基に授業の改善を進める計画を推進していく予定である。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>情報の基礎的な知識やスキルを培いつつ、最新の技術や社会問題、動向に基づく時事やトレンドの実例を取り入れた興味を引く講義内容を提供している。最新のトレンドに関しては、学生がそれぞれの興味や関心に基づいたテーマを選び、レポートを作成させ、その内容に対して評価を行っている。令和5年度において、10個のテーマの中から、マイナンバーカードの普及、ロシアのウクライナ侵攻における「ハイブリッド戦」、生成型AIの台頭などが選ばれた。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p> <p>※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p>	<p>FD・SD委員会の学生授業アンケートを参考に、「分かりやすさ」の観点から講義の内容・実施方法の見直しを検討している。特に、令和5年度では実習形式の演習による丁寧な指導やオンデマンド講義での繰り返し、いつでも動画を視聴可能な点が「わかりやすさ」に寄与していたことが確認された。</p> <p>また、社会の変化に応じた最新のトレンドを取り上げ、動画として何度も繰り返し視聴できるようにしている。</p>

授業コード	S01486	ナンバリングコード	GSI1-004
科目名称	情報A	実務経験のある教員による授業	
サブタイトル (副題)			
担当教員	竹田 和恵		
開講学期	2024年度 前期	授業形態	演習 単位数 2
到達目標	授業を通して、次のことを目標とします。 ①Windowsパソコンのカスタマイズ、基本操作ができる ②ワードを使って文書処理ができる ③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる ④インターネットを適切に利用できる		
授業概要	高度情報化が更に進展し、ますます拡大されてきている。このような情報化の進展に伴い、一人ひとりが「情報」を主体的に選択し、活用していくための基礎的な資質を身につけることが大切である。そしてパソコンやソフトウェアの操作能力向上だけではなく、情報モラル・セキュリティ等、情報化社会で生きる姿勢・態度も学習する。本講義では、ワープロ、表計算等のアプリケーションプログラムの活用を通して、コンピュータの役割と機能について理解し、適切に活用する能力を身につける。コンピュータの基本操作から、Windowsシステムの基礎知識、ファイルの扱い方、情報の利用、情報モラルを理解させる。		
アクティブ・ラーニングの形態			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他			
準備学修 (予習・復習) の内容・時間	タッチタイピングの練習 及び 前回の講義の復習		
授業計画	1. 本講義のガイダンス、大学の情報環境の習得 2. インターネット、タッチタイピング 3. 電子メール、文書作成の基礎 4. 情報モラル、ページ設定と文書の印刷 5. 情報セキュリティ、文書の編集 6. コンピュータのハードウェア、表の作成 7. コンピュータのソフトウェア、図形と画像の扱い 8. データサイエンス入門1：表計算の基礎 9. データサイエンス入門2: 表計算の参照方式 10. データサイエンス入門3 :関数 11. データサイエンス入門4：基本統計 12. データサイエンス入門5：データ集計と可視化 13. まとめ		
成績評価方法	タイピング (10%)、課題 (70%)、最終レポート (20%)		
課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法	授業内で必要に応じて適宜お知らせします。		
オフィスアワー (質問等の受付方法)	授業終了後、教室にて受付 (またはメールにて受付)		
メールアドレス	kazue@suma.kobe-wu.ac.jp		
この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)			
学科DP番号	DPの内容	成績評価方法	

この授業と関連する大学全体の教育目標		
教育目標が示す資質・能力等	資質・能力等の内容	成績評価方法
責任感	社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢	上記、成績評価方法による
表現力	自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢	上記、成績評価方法による
論理的思考力	筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力	上記、成績評価方法による
問題発見力	現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力	上記、成績評価方法による

教科書	著者名	出版社	ISBN
なし	なし	なし	なし

参考書	著者名	出版社	ISBN
実教出版 30時間アカデミック	なし	なし	なし

授業コード	S01510	ナンバリングコード	GS11-005
科目名称	情報B	実務経験のある教員による授業	
サブタイトル			
担当教員	黒田 昌克		
開講学期	2023年度 前期	授業形態	講義
		単位数	2
到達目標	<p>授業を通して、次のことを目標とします。</p> <p>①AI・データサイエンスの必要性を説明できる。</p> <p>②社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる。</p> <p>③データの活用方法について説明できる。</p> <p>④データ・AIを扱う上で留意事項を説明できる。</p>		
授業概要	<p>【メディア授業】</p> <p>情報化社会において、AI・データサイエンスに関して興味・関心を持ち、AI時代に身に付けておくべき素養（新たな読み書きそろばん）を修得し、日常や仕事の場で使いこなせるようになることは重要です。本授業は、広い様々な視点からAI・データサイエンスに関して基礎的な知識を習得し、日常の生活や仕事で使いこなせるようになる内容を扱います。学修方法は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定のe-Learning教材を活用し、すべてオンライン上で学修する。 ・動画コンテンツを視聴し、途中でメモを取り、わからない用語を調べながら学修する。 ・各週ごとに用意されている小テストを受け、13週目で最終レポートを出題する。 		
アクティブ・ラーニングの形態			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他			
準備学修（授業前後の主体的な学修）	指定のe-Learning教材の学習及び前回講義の1時間程度の復習		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義のガイダンス、データサイエンスとは 2. 社会で起きている変化 3. 社会で活用されているデータ 4. データ・AIの活用領域 5. データ・AI利活用のための技術 6. データ活用とは 7. データ・AI利活用の現場 8. データ・AI利活用の最新動向 9. データを読む 10. データを説明する 11. データを扱う 12. データ・AIを扱う上での留意事項 13. データを守る上での留意事項とまとめ 		
成績評価方法	課題（70%）、最終レポート（30%）		
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	e-Learning教材で示される小テスト等において、解答や採点結果がフィードバックされますので学修に役立ててください。		
オフィスアワー（質問等の受付方法）	M320号室（黒田研究室）で随時受け付けます。事前に連絡をいただくと助かります。		
メールアドレス	m-kuroda@suma.kobe-wu.ac.jp		
この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）			
学科DP番号	DPの内容	成績評価方法	
教養2-1	自らの専門領域を超え、問題解決を図ろうとする創造性を身に付けている。	上記、成績評価方法による	

教養3-1	主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。	上記、成績評価方法による

この授業と関連する大学全体の教育目標		
教育目標が示す資質・能力等	資質・能力等の内容	成績評価方法
責任感	社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢	上記、成績評価方法による
表現力	自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢	上記、成績評価方法による
論理的思考力	筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力	上記、成績評価方法による
問題発見力	現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力	上記、成績評価方法による

教科書	著者名	出版社	ISBN
なし			

参考書	著者名	出版社	ISBN
なし			

令和5(2023)年度入学生 開講年次一覧

全学共通教養科目

文学部・家政学部用

No.1

授 業 科 目	サブタイトル	単 位	配 当 (開 講) 年 次								資 格 関 連 (詳 細 は 資 格 の 各 頁 参 照)		備 考	
			1回生		2回生		3回生		4回生		教職必修	教職以外の資格 (保育士)		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
基 幹 科 目	基礎Ⅰ	マイライフ・マイキャリアⅠ	2	○										
	基礎Ⅱ	マイライフ・マイキャリアⅡ	2		○									
	基礎Ⅲ	マイライフ・マイキャリアⅢ	2			△	△							
	基礎Ⅳ	アカデミックスキルと日本語演習	2	○										
	女 性	女性Ⅰ	女性学	2	○									
		女性Ⅱ	女性と仕事	2	○									
		女性Ⅲ	女性と健康	2		○								
		女性Ⅳ	女性史	2		○								
	地 域	神戸学		2	○									
		地域学習		2	○	○								通年
英 語	英語Ⅰ-1		1	○									英語英米文学科以外	
	英語Ⅰ-2		1		○								〃	
	英語Ⅱ-1		1			○							〃	
	英語Ⅱ-2		1				○						〃	
	外国語コミュニケーションⅠ		1					○			教職必修	保(教育)選必		
	外国語コミュニケーションⅡ		1						○		教職必修	保(教育)選必		
	教養英語Ⅰ-1		1	○									英語英米文学科以外	
	教養英語Ⅰ-2		1		○								〃	
	教養英語Ⅱ-1		1			○							〃	
	教養英語Ⅱ-2		1				○						〃	
	語 学 科 目 (世 界 の 言 語)	ドイツ語Ⅰ-1		1	○									
		ドイツ語Ⅰ-2		1		○								
		ドイツ語Ⅰ(速習)		2	○									
		ドイツ語Ⅱ(速習)		2		○								*
		フランス語Ⅰ-1		1	○									
		フランス語Ⅰ-2		1		○								
フランス語Ⅰ(速習)			2	○										
フランス語Ⅱ(速習)			2		○								*	
中国語Ⅰ-1			1	○										
中国語Ⅰ-2			1		○									
中国語Ⅰ(速習)			2	○										
中国語Ⅱ(速習)			2		○								*	
中国語会話Ⅰ			1	○		○							*	
中国語会話Ⅱ			1		○		○						*	
中国語講読Ⅰ			1	○		○							*	
中国語講読Ⅱ			1		○		○						*	
朝鮮語Ⅰ-1			1	○										
朝鮮語Ⅰ-2			1		○									
朝鮮語Ⅰ(速習)			2	○										
朝鮮語Ⅱ(速習)			2		○								*	
朝鮮語会話Ⅰ			1	○		○							*	
朝鮮語会話Ⅱ			1		○		○						*	
朝鮮語講読Ⅰ			1	○		○							*	
朝鮮語講読Ⅱ			1		○		○						*	
イタリア語Ⅰ-1		1	○											
イタリア語Ⅰ-2		1		○										
イタリア語Ⅰ(速習)		2	○											
イタリア語Ⅱ(速習)		2		○								*		
検 定 科 目	検定認定科目Ⅰ													
	検定認定科目Ⅱ													
情 報 科 目	情報A		2	△	△						教職必修	保(教育)選必		
	情報B		2	○										

教
養
1

▲印 廃止予定科目

*履修登録条件を確認のこと (p.47)
△印 前期又は後期

令和5(2023)年度入学生 開講年次一覧

全学共通教養科目

文学部・家政学部用

No.2

授業科目	サブタイトル	単位	配当(開講)年次								資格関連(詳細は資格の各頁参照)		備考
			1回生		2回生		3回生		4回生		教職必修	教職以外の資格(保育士)	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
ウェルネス科目	基礎トレーニング	1	○								教職必修	保(教育)必修	
	スポーツと健康の科学	2			△	△					教職必修	保(教育)必修	
	スポーツ実技Ⅰ(バドミントン)	1		△	△								
	スポーツ実技Ⅱ(バレーボール)	1		△	△								
	スポーツ実技Ⅲ(卓球)	1		△	△								
	スポーツ実技Ⅳ(テニス)	1		△	△								
	スポーツ実技Ⅴ(学外)	1		○									
一般科目	人と思想												
	哲学	哲学入門	2	○									
	思想	世界の思想	2		○								
	宗教	世界の宗教	2		○								
	人間の行動												
	心理学Ⅰ	心理学Ⅰ	2	○									
	心理学Ⅱ	心理学Ⅱ	2		○								
	心とからだの健康	心とからだの健康	2	○									
	言葉と文学												
	言葉と文学Ⅰ	日本の文学	2	○									
	言葉と文学Ⅱ	アメリカの文学	2		○								
	言葉と文学Ⅲ	イギリスの文学	2	○									
	言葉と文学Ⅳ	世界の言語と文化	2	○									
	歴史												
	歴史Ⅰ	日本の歴史	2	○							社会(国際)		
	歴史Ⅱ	アジアの歴史	2		○								隔年開講(2024年開講)
	歴史Ⅲ	ヨーロッパの歴史	2	○									隔年開講(2023年開講)
	現代社会												
	日本国憲法	日本国憲法	2		○						教職必修	保(教育)選必	
	現代社会Ⅰ	法と社会生活	2	○									
	現代社会Ⅱ	現代社会と経済	2	○									
	現代社会Ⅲ	現代社会論	2	○									
	現代社会Ⅳ	現代社会と政治	2	○									
	現代社会Ⅴ	文化人類学入門	2		○								
	数学												
	数学Ⅰ	数学と数的思考	2	○									
	数学Ⅱ	統計学入門	2		○								
自然と環境													
自然と環境Ⅰ	生活の中の物理学	2		○									
自然と環境Ⅱ	躍動する地球	2	○										
自然と環境Ⅲ	生活の中の化学	2		○									
自然と環境Ⅳ	生命の科学	2	○								保(教育)選必		
衣・食・住Ⅰ	世界の食文化	2	○										
衣・食・住Ⅱ	21世紀の暮らしを考える	2	○									家政学科以外	
芸術													
芸術Ⅰ	美の探求	2	○										
芸術Ⅱ	世界の音楽	2	○										
芸術Ⅲ	日本の古典芸能	2	○										
教養総合													
教養総合Ⅰ		2	○										
教養総合Ⅱ		2		○									
演習科目													
教養演習Ⅰ		2		○									
教養演習Ⅱ		2			○								
大学関連連携科目	地域コミュニティ入門	2	○		○		○		○				神戸学院大学で臨時開講
	防災・防犯入門	2	○		○		○		○				神戸学院大学で臨時開講
	防災・防犯ワークショップ	2		○		○		○	○				神戸学院大学で臨時開講
	健康づくり・生活支援ワークショップ	2		○		○		○	○				兵庫医科大学で臨時開講
	人間関係づくりワークショップ	2		○		○		○	○				神戸学院大学で臨時開講
	防災・防犯指導論実習	1		○		○		○	○				神戸学院大学で臨時開講
	健康・生活支援指導論実習	1		○		○		○	○				兵庫医科大学で臨時開講
	地域連携インターンシップⅠ	1					○		○				神戸学院大学で臨時開講
	地域連携インターンシップⅡ	1						○	○				神戸学院大学で臨時開講
その他単位互換科目	単位互換科目等												
卒業要件単位外自由科目													
	インターンシップ	職業支援講座	1					○					卒業要件単位外

教養

ついて
教育課程に

〈全学共通教養科目 カリキュラム〉

△印 前期又は後期

令和5（2023）年度入学生 開講年次一覧

全学共通教養科目
健康福祉学部

No. 1

授 業 科 目	サブタイトル	単 位	配当（開講）年次								備 考		
			1回生		2回生		3回生		4回生				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基 幹 科 目	基礎Ⅰ	マイライフ・マイキャリアⅠ	2	○									
	基礎Ⅱ	マイライフ・マイキャリアⅡ	2		○								
	基礎Ⅲ	マイライフ・マイキャリアⅢ	2			○							
	女性Ⅰ	女性学	2	○									
	女性Ⅱ	女性と仕事	2		○								
	女性Ⅲ	女性と健康	2		○								
	女性Ⅳ	女性史	2		○								
	地 域	神戸学	2	○									※
		地域学習	2	○	○								通年
	語 学 科 目 （ 世 界 の 言 語 ）	英 語	英語Ⅰ-1	1	○								
英語Ⅰ-2			1		○								
英語Ⅱ-1			1			○							
英語Ⅱ-2			1				○						
外国語コミュニケーションⅠ			1					○					教職必修
外国語コミュニケーションⅡ			1						○				教職必修
教養英語Ⅰ-1			1	○									
教養英語Ⅰ-2			1		○								
教養英語Ⅱ-1			1			○							
教養英語Ⅱ-2			1				○						
初 習 言 語		ドイツ語Ⅰ-1	1	○									
		ドイツ語Ⅰ-2	1		○								
		フランス語Ⅰ-1	1	○									
		フランス語Ⅰ-2	1		○								
		中国語Ⅰ-1	1	○									
		中国語Ⅰ-2	1		○								
		中国語会話Ⅰ	1				○						*
		中国語講読Ⅰ	1				○						*
		朝鮮語Ⅰ-1	1	○									
		朝鮮語Ⅰ-2	1		○								
		朝鮮語会話Ⅰ	1				○						*
		朝鮮語講読Ⅰ	1				○						*
		イタリア語Ⅰ-1	1	○									
		イタリア語Ⅰ-2	1		○								
検 定 認 定 科 目	検定認定科目Ⅰ												
	検定認定科目Ⅱ												
情 報 科 目	情報A	2	○									教職必修	
	情報B	2	○										
	情報C	2		○									
ウ ェ ル ネ ス 科 目	基礎トレーニング	1	○									教職必修	
	スポーツと健康の科学	2			○							教職必修	
	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	1		△	△							後期又は前期	
	スポーツ実技Ⅰ-1（球技）	1		○								教職必修（保体）	
	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	1		△	△							後期又は前期	
	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	1		△	△							後期又は前期	
	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	1		△	△							後期又は前期	
	スポーツ実技Ⅴ（学外）	1		○									

教養2023

▲廃止予定科目
※単位互換科目

*履修登録条件（p.43）を確認すること
△印 前期又は後期

令和5（2023）年度入学生 開講年次一覧

全学共通教養科目

健康福祉学部

No. 2

授 業 科 目	サブタイトル	単 位	配当（開講）年次								備 考										
			1回生		2回生		3回生		4回生												
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
一 般 科 目	人 と 思 想	哲学	哲学入門	2	○																
		宗教	世界の宗教	2	○																
	人 間 の 心 理 と 行 動	心理学Ⅰ	心理学Ⅰ	2	○																
		心とからだの健康	心とからだの健康	2		○															
	言 業 と 文 学	▲言葉と文学Ⅰ	日本の文学	2	○																
		言葉と文学Ⅱ	アメリカの文学	2		○															隔年開講（2023年度開講）
		▲言葉と文学Ⅲ	イギリスの文学	2		○															隔年開講（2024年度開講）
		手話Ⅰ	手話の基礎	2	○																
		手話Ⅱ	手話の応用	2		○															
		歴 史	歴史Ⅰ	日本の歴史	2	○															
	歴史Ⅱ		アジアの歴史	2		○															隔年開講（2023年度開講）
	▲歴史Ⅲ		ヨーロッパの歴史	2		○															隔年開講（2024年度開講）
	現 代 社 会	日本国憲法	日本国憲法	2	○																教職必修
		現代社会Ⅰ	法と社会生活	2		○															
		現代社会Ⅱ	現代社会と経済	2	○																
		現代社会Ⅲ	現代社会論	2		○															
		現代社会Ⅳ	現代社会と政治	2		○															
		現代社会Ⅴ	社会福祉入門	2	○																
	数 学	数学Ⅰ	数学と数的思考	2	○																
		数学Ⅱ	統計学入門	2		○															
自 然 と 環 境	自然と環境Ⅰ	生活の中の物理学	2		○																
	自然と環境Ⅱ	躍動する地球	2	○																	
	衣・食・住Ⅰ	世界の食文化	2	○																	
	衣・食・住Ⅱ	食の楽しみと健康	2		○																
芸 術	芸術Ⅰ	美の探求	2	○																	
	芸術Ⅱ	世界の音楽	2	○																	
教 養 総 合 科 目	教養総合Ⅰ		2	○																	
	教養総合Ⅱ		2		○																
演 習 科 目	教養演習Ⅰ		2		○																
	教養演習Ⅱ		2			○															
大 学 間 連 携 科 目	地域コミュニティ入門		2	○		○		○		○										神戸学院大学で臨時開講	
	防災・防犯入門		2	○		○		○		○										神戸学院大学で臨時開講	
	防災・防犯ワークショップ		2		○		○		○		○									神戸学院大学で臨時開講	
	健康づくり・生活支援ワークショップ		2		○		○		○		○									兵庫医科大学で臨時開講	
	人間関係づくりワークショップ		2		○		○		○		○									神戸学院大学で臨時開講	
	防災・防犯指導論実習		1		○		○		○		○									神戸学院大学で臨時開講	
	健康・生活支援指導論実習		1		○		○		○		○									兵庫医科大学で臨時開講	
	地域連携インターンシップⅠ		1					○			○									神戸学院大学で臨時開講	
	地域連携インターンシップⅡ		1						○			○								神戸学院大学で臨時開講	
その他単位 互換科目	単位互換科目等																				
卒業要件単位外自由科目																					
	インターンシップ	職業支援講座	1							○										卒業要件単位外	

▲廃止予定科目

教養
2
0
2
3

健康福祉学部
〈全学共通教養科目 カリキュラム〉

令和5（2023）年度入学生 開講年次一覧

全学共通教養科目
看護学部

No. 1

授 業 科 目	サブタイトル	区分	単 位	配当（開講）年次								備 考				
				1回生		2回生		3回生		4回生						
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
基 幹 科 目	基礎Ⅰ	マイライフ・マイキャリアⅠ	選択	2	○										*	
	基礎Ⅱ	マイライフ・マイキャリアⅡ	選択	2		○										
	基礎Ⅲ	マイライフ・マイキャリアⅢ	選択	2			○								*	
	女 性	女性Ⅰ	女性学	選択	2	○										
		女性Ⅱ	女性と仕事	選択	2		○									
		女性Ⅲ	女性と健康	選択	2		○									
		女性Ⅳ	女性史	選択	2		○									
	地 域	神戸学		選択	2	○										※
		地域学習		選択	2	○	○									通年
	語 学 科 目 （ 世 界 の 言 語 ）	英 語	英語Ⅰ-1	選択	1	○										
英語Ⅰ-2			選択	1		○										
英語Ⅱ-1			選択	1	○											
英語Ⅱ-2			選択	1		○										
外国語コミュニケーションⅠ			選択	1	○										教職必修	
外国語コミュニケーションⅡ			選択	1		○									教職必修	
教養英語Ⅰ-1			選択	1	○											
教養英語Ⅰ-2			選択	1		○										
教養英語Ⅱ-1		選択	1	○												
教養英語Ⅱ-2		選択	1		○											
初 習 言 語		ドイツ語Ⅰ-1	選択	1	○											
		ドイツ語Ⅰ-2	選択	1		○										
		フランス語Ⅰ-1	選択	1	○											
		フランス語Ⅰ-2	選択	1		○										
		中国語Ⅰ-1	選択	1	○											
		中国語Ⅰ-2	選択	1		○										
	中国語会話Ⅰ	選択	1		○											
	中国語講読Ⅰ	選択	1			○										
	朝鮮語Ⅰ-1	選択	1	○												
	朝鮮語Ⅰ-2	選択	1		○											
朝鮮語会話Ⅰ	選択	1		○												
朝鮮語講読Ⅰ	選択	1			○											
イタリア語Ⅰ-1	選択	1	○													
イタリア語Ⅰ-2	選択	1		○												
情 報 科 目	情報A		必修	2	○										教職必修	
	情報B		選択	2	○											
	情報C		選択	2		○										

教養2023

*履修が望ましい科目
▲廃止予定科目
※単位互換科目

※養護教諭一種免許状及び養護教諭二種免許状を取得希望の場合は、「教職必修」の科目を必ず履修してください。

令和5（2023）年度入学生 開講年次一覧

全学共通教養科目
看護学部

No. 2

授 業 科 目	サブタイトル	区分	単 位	配当（開講）年次								備 考	
				1回生		2回生		3回生		4回生			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
ウ エ ル ネ ス 科 目	基礎トレーニング	必修	1	○									教職必修
	スポーツと健康の科学	選択	2	○									教職必修
	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	選択	1		△	△							後期又は前期
	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	選択	1		△	△							後期又は前期
	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	選択	1		△	△							後期又は前期
	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	選択	1		△	△							後期又は前期
	スポーツ実技Ⅴ（学外）	選択	1		○								
人 と 思 想	哲学	哲学入門	選択	2	○								
	宗教	世界の宗教	選択	2	○								
人 間 の 心 理 と 行 動	心理学Ⅰ	心理学Ⅰ	選択	2	○								
	心とからだの健康	心とからだの健康	選択	2		○							
言 葉 と 文 学	▲言葉と文学Ⅰ	日本の文学	選択	2	○								
	言葉と文学Ⅱ	アメリカの文学	選択	2		○							隔年開講（2023年度開講）
	▲言葉と文学Ⅲ	イギリスの文学	選択	2		○							隔年開講（2024年度開講）
	手話Ⅰ	手話の基礎	選択	2	○								
	手話Ⅱ	手話の応用	選択	2		○							
	歴史Ⅰ	日本の歴史	選択	2	○								
一 般 科 目	歴史Ⅱ	アジアの歴史	選択	2		○							隔年開講（2023年度開講）
	▲歴史Ⅲ	ヨーロッパの歴史	選択	2		○							隔年開講（2024年度開講）
	日本国憲法	日本国憲法	選択	2	○								教職必修
現 代 社 会	現代社会Ⅰ	法と社会生活	選択	2		○							
	現代社会Ⅱ	現代社会と経済	選択	2	○								
	現代社会Ⅲ	現代社会論	選択	2		○							
	現代社会Ⅳ	現代社会と政治	選択	2		○							
	現代社会Ⅴ	社会福祉入門	選択	2	○								
数 学	数学Ⅰ	数学と数的思考	選択	2	○								
	数学Ⅱ	統計学入門	選択	2		○							
自 然 と 環 境	自然と環境Ⅰ	生活の中の物理学	選択	2		○							
	自然と環境Ⅱ	躍動する地球	選択	2	○								
	衣・食・住Ⅰ	世界の食文化	選択	2	○								
	衣・食・住Ⅱ	食の楽しみと健康	選択	2		○							
芸 術	芸術Ⅰ	美の探求	選択	2	○								
	芸術Ⅱ	世界の音楽	選択	2	○								
教 養 総 合 科 目	教養総合Ⅰ		選択	2	○								
	教養総合Ⅱ		選択	2		○							
合計			全学共通教養科目16単位以上										

*履修が望ましい科目
▲廃止予定科目

△印 前期又は後期

教養2023

看護学部
〈全学共通教養科目 カリキュラム〉

令和5（2023）年度入学生 開講年次一覧

全学共通教養科目
心理学部

No. 1

授 業 科 目	サブタイトル	区分	単 位	配当（開講）年次								備 考			
				1回生		2回生		3回生		4回生					
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
基 幹 科 目	基礎Ⅰ	マイライフ・マイキャリアⅠ	選択	2	○										
	基礎Ⅱ	マイライフ・マイキャリアⅡ	選択	2		○									
	基礎Ⅲ	マイライフ・マイキャリアⅢ	選択	2			○								
	女 性	女性Ⅰ	女性学	選択	2	○									
		女性Ⅱ	女性と仕事	選択	2		○								
		女性Ⅲ	女性と健康	選択	2		○								
		女性Ⅳ	女性史	選択	2		○								
	地 域	神戸学		選択	2	○									※
		地域学習		選択	2	○	○								通年
	語 学 科 目 （ 世 界 の 言 語 ）	英 語	英語Ⅰ-1	必修	1	○									
英語Ⅰ-2			必修	1		○									
英語Ⅱ-1			選択	1			○								
英語Ⅱ-2			選択	1				○							
外国語コミュニケーションⅠ			選択	1					○						
外国語コミュニケーションⅡ			選択	1						○					
教養英語Ⅰ-1			選択	1	○										
教養英語Ⅰ-2			選択	1		○									
初 習 言 語		ドイツ語Ⅰ-1	選択	1	○										
		ドイツ語Ⅰ-2	選択	1		○									
		フランス語Ⅰ-1	選択	1	○										
		フランス語Ⅰ-2	選択	1		○									
		中国語Ⅰ-1	選択	1	○										
		中国語Ⅰ-2	選択	1		○									
		中国語会話Ⅰ	選択	1				○							*
		中国語講読Ⅰ	選択	1				○							*
		朝鮮語Ⅰ-1	選択	1	○										
		朝鮮語Ⅰ-2	選択	1		○									
		朝鮮語会話Ⅰ	選択	1				○							*
		朝鮮語講読Ⅰ	選択	1				○							*
検 定 目 録	検定認定科目Ⅰ														
	検定認定科目Ⅱ														
情 報 科 目	情報A	必修	2	○											
	情報B	選択	2	○											
	情報C	必修	2		○										
ウ ェ ル ネ ス 科 目	基礎トレーニング	必修	1	○											
	スポーツと健康の科学	必修	2			○									
	スポーツ実技Ⅰ-1（球技）	選択	1		○										
	スポーツ実技Ⅰ（バドミントン）	選択	1		△	△								後期又は前期	
	スポーツ実技Ⅱ（バレーボール）	選択	1		△	△								後期又は前期	
	スポーツ実技Ⅲ（卓球）	選択	1		△	△								後期又は前期	
	スポーツ実技Ⅳ（テニス）	選択	1		△	△								後期又は前期	
スポーツ実技Ⅴ（学外）	選択	1		○											

教養2023

※単位互換科目
▲廃止予定科目

*履修登録条件（p.122～p.123）を確認すること
△印 前期又は後期

令和5（2023）年度入学生 開講年次一覧

全学共通教養科目

心理学部

No. 2

授業科目	サブタイトル	区分	単位	配当（開講）年次								備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
人と思想	哲学	哲学入門	選択	2	○									
	宗教	世界の宗教	選択	2	○									
理人間の心と行動	心理学Ⅰ	心理学Ⅰ	選択	2	○									
	心とからだの健康	心とからだの健康	選択	2		○								
言葉と文学	▲言葉と文学Ⅰ	日本の文学	選択	2	○									
	言葉と文学Ⅱ	アメリカの文学	選択	2		○								隔年開講（2023年度開講）
	▲言葉と文学Ⅲ	イギリスの文学	選択	2		○								隔年開講（2024年度開講）
	手話Ⅰ	手話の基礎	選択	2	○									
	手話Ⅱ	手話の応用	選択	2		○								
	歴史	歴史Ⅰ	日本の歴史	選択	2	○								
	歴史Ⅱ	アジアの歴史	選択	2		○								隔年開講（2023年度開講）
	▲歴史Ⅲ	ヨーロッパの歴史	選択	2		○								隔年開講（2024年度開講）
現代社会	日本国憲法	日本国憲法	選択	2	○									
	現代社会Ⅰ	法と社会生活	選択	2		○								
	現代社会Ⅱ	現代社会と経済	選択	2	○									
	現代社会Ⅲ	現代社会論	選択	2		○								
	現代社会Ⅳ	現代社会と政治	選択	2		○								
	現代社会Ⅴ	社会福祉入門	選択	2	○									
数学	数学Ⅰ	数学と数的思考	選択	2	○									
	数学Ⅱ	統計学入門	選択	2		○								
自然と環境	自然と環境Ⅰ	生活の中の物理学	選択	2		○								
	自然と環境Ⅱ	躍動する地球	選択	2	○									
	衣・食・住Ⅰ	世界の食文化	選択	2	○									
	衣・食・住Ⅱ	食の楽しみと健康	選択	2		○								
芸術	芸術Ⅰ	美の探求	選択	2	○									
	芸術Ⅱ	世界の音楽	選択	2	○									
教養総合	教養総合Ⅰ		選択	2	○									
	教養総合Ⅱ		選択	2		○								
演習科目	教養演習Ⅰ		選択	2		○								
	教養演習Ⅱ		選択	2			○							
大学間連携科目	地域コミュニティ入門		選択	2	○		○		○					神戸学院大学で臨時開講
	防災・防犯入門		選択	2	○		○		○					神戸学院大学で臨時開講
	防災・防犯ワークショップ		選択	2		○		○		○				神戸学院大学で臨時開講
	健康づくり・生活支援ワークショップ		選択	2		○		○		○				兵庫医科大学で臨時開講
	人間関係づくりワークショップ		選択	2		○		○		○				神戸学院大学で臨時開講
	防災・防犯指導論実習		選択	1		○		○		○				神戸学院大学で臨時開講
	健康・生活支援指導論実習		選択	1		○		○		○				兵庫医科大学で臨時開講
	地域連携インターンシップⅠ		選択	1					○		○			神戸学院大学で臨時開講
地域連携インターンシップⅡ		選択	1						○		○		神戸学院大学で臨時開講	
その他単位互換科目	単位互換科目等													
卒業要件単位外自由科目														
	インターンシップ	職業支援講座		1						○				卒業要件単位外

▲廃止予定科目

教養2023

心理学部（全学共通教養科目 カリキュラム）

神戸女子大学・神戸女子短期大学 数理・データサイエンス・AI 教育ワーキング

グループ規程

(目的)

第1条 この規程は、神戸女子大学・神戸女子短期大学全学共通教育運営委員会規程第3条第4項の規定に基づき設置する神戸女子大学・神戸女子短期大学数理・データサイエンス・AI教育ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 ワーキンググループは、文部科学省が定める「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に基づく神戸女子大学・神戸女子短期大学の認定プログラムの運営に関して、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 認定プログラムに関する計画・実施
- (2) 認定プログラムに関する改善・進化
- (3) 認定プログラムに関する自己点検・評価
- (4) その他、上記運営に係る事項

(組織)

第3条 ワーキンググループの構成員は、次の各号に掲げる教員をもって組織する。

- (1) 全学共通教育運営委員長
- (2) 全学共通教育運営委員のうち情報分野代表
- (3) その他、全学共通教育運営委員長が必要と認めた者

2 ワーキンググループの長（以下「グループ長」という。）は全学共通教育運営委員長とする。

3 グループ長に事故があるときは、同条第1項第2号に定める情報分野代表のうちグループ長が事前に指定した者が優先してその職務を代行する。

4 構成員は、グループ長が任命し、全学共通教育運営委員会に報告する。

(運営)

第4条 会議はグループ長が招集し、議長を務める。

2 議事は、構成員全てのうち委任状を含めた過半数の賛成を以て決議する。なお、審議結果については議長が全学共通教育運営委員会に報告する。

(構成員)

第5条 構成員の任期は、1年とし、再任を妨げない。

2 構成員に欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(雑則)

第6条 この規程に定めるもののほか、ワーキンググループに関し必要な事項は、グループ長が決定する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、全学共通教育運営委員会及び部局長等会議の意見を聴き学長が行う。

附則

1 この規程は、令和5年10月19日から施行し、令和5年4月1日から適用する。

神戸女子大学・神戸女子短期大学 数理・データサイエンス・AI 教育ワーキング

グループ規程

(目的)

第1条 この規程は、神戸女子大学・神戸女子短期大学全学共通教育運営委員会規程第3条第4項の規定に基づき設置する神戸女子大学・神戸女子短期大学数理・データサイエンス・AI教育ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 ワーキンググループは、文部科学省が定める「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に基づく神戸女子大学・神戸女子短期大学の認定プログラムの運営に関して、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 認定プログラムに関する計画・実施
- (2) 認定プログラムに関する改善・進化
- (3) 認定プログラムに関する自己点検・評価
- (4) その他、上記運営に係る事項

(組織)

第3条 ワーキンググループの構成員は、次の各号に掲げる教員をもって組織する。

- (1) 全学共通教育運営委員長
- (2) 全学共通教育運営委員のうち情報分野代表
- (3) その他、全学共通教育運営委員長が必要と認めた者

2 ワーキンググループの長（以下「グループ長」という。）は全学共通教育運営委員長とする。

3 グループ長に事故があるときは、同条第1項第2号に定める情報分野代表のうちグループ長が事前に指定した者が優先してその職務を代行する。

4 構成員は、グループ長が任命し、全学共通教育運営委員会に報告する。

(運営)

第4条 会議はグループ長が招集し、議長を務める。

2 議事は、構成員全てのうち委任状を含めた過半数の賛成を以て決議する。なお、審議結果については議長が全学共通教育運営委員会に報告する。

(構成員)

第5条 構成員の任期は、1年とし、再任を妨げない。

2 構成員に欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(雑則)

第6条 この規程に定めるもののほか、ワーキンググループに関し必要な事項は、グループ長が決定する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、全学共通教育運営委員会及び部局長等会議の意見を聴き学長が行う。

附則

1 この規程は、令和5年10月19日から施行し、令和5年4月1日から適用する。

大学等名	神戸女子大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	数理・データサイエンス・AI リテラシープログラム	申請年度	令和6年度

取組概要

本プログラムは、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）認定制度」に準拠し、数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な能力の向上を図ることを目的としています。

事業計画 数理・データサイエンス・AIリテラシー プログラム



概要

神戸女子大学の全1回生を対象とした「数理・データサイエンス・AI リテラシープログラム」は、全学共通教養科目の2科目で構成されます。

2023年度前期

2024年度

- 文学部
- 家政学部
- 健康福祉学部
- 看護学部
- 心理学部

【全学共通教養科目】
情報A
 ※演習科目
 コンピュータ利用の
 基礎・基本を身につける

【全学共通教養科目】
情報B
 ※e-Learning（オンデマンド）
 数理・データサイエンス・AI
 に関する基礎的な能力の向上
 を図る

運用結果の
 自己点検を行い
 次年度の
 プログラムに反映

数理・データサイエンス・AIリテラシープログラムの修了要件は
 全学共通教養科目 情報A（2単位）・情報B（2単位）
 の計4単位を修得すること

【身に付けられる能力】

- ① 基本的な文書処理やデータ処理ができる
- ② インターネットを適切に利用できる
- ③ AI・データサイエンスの必要性を説明できる
- ④ 社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる
- ⑤ データの活用方法について説明できる
- ⑥ データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる